

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	胃癌に対する術後肺炎と予後の関係
	研究目的	胃癌術後の肺炎は比較的頻度の高い合併症である。食道癌においては、術後肺炎発症は予後に悪影響を与えると報告されている。一方、胃癌における術後肺炎と予後の関係は少ない。胃癌に対する切除例の術後肺炎発症が長期予後に与える影響を後方視的に検討する。
	研究対象者	2000年6月から2014年6月まで胃癌に対し切除術を施行した症例のうち、特殊組織型、在院死亡、非治癒切除、残胃癌を除いた1830例
	研究期間	西暦2019年12月11日～西暦2019年12月30日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	なし
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし